

10 月定例記者会見 市長原稿

それでは、10 月の定例記者会見を始めます。

本日も情報提供の前に、いくつか本市の取り組みやまちの話題をご紹介します。

今年 2 月、サプラスクエア・サプラのキーテナントのイトーヨーカドーが閉店したことは、多くの方の記憶にも新しいのではないのでしょうか。

閉店後、北竜台地区の皆さんを中心に、地域の賑わいや生活の利便性への影響を、心配される声も多くいただいておりますが、5 月には隣接する敷地内にスーパーマーケット・ベルクがオープンしました。

サプラのキーテナントには 9 月に、家電量販店のヤマダデンキが入り、10 月には生鮮市場 TOP をはじめ、ドラッグストア、衣料品販売店が続々とオープンし、にぎわいを取り戻してきたことを実感しているところです。

今後も、民間事業者と連携しながら、まちのにぎわいを生み出していきたいと考えております。

次に、「スポーツクライミングのまちづくり」を進めている本市にとって、うれしいニュースがありました。

10 月、福岡県で開催された第 8 回全国ボルダー小学生競技大会に、本市在住の湯原良那さんが出場し、見事決勝に進出、4 位に入賞したとのことです。本市総合運動公園・ニューライフアリーナ龍ヶ崎のボルダリング教室から、競技をスタートした湯原さんが、全国大会の舞台上で輝く姿は、きっと“たつのこ”たちにも勇気と元気を与えるものと考えております。

今後ますますのご活躍を楽しみにしているところです。

それでは、本日の情報提供に入ります。

最初に、旧城南中学校で開催する「物品販売・譲渡会」についての情報です。

このたび、旧城南中学校の解体に先立ち、校内に残る備品や器具などを、市民の皆さまに販売・譲渡するイベントを行います。

開催日は12月6日・土曜日と7日・日曜日で、長年親しまれてきた校舎に入ることができる最

後の機会にもなりますので、ぜひ多くの方に足を運んでいただきたいと思います。

旧城南中学校は令和4年3月に閉校しましたが、この跡地活用に関しまして、市では、「定住人口・交流人口の増加」や「にぎわいの創出」を目的に、民間事業者からの提案を、公募型プロポーザル方式で募集しました。

その結果、大和ハウス工業株式会社茨城支店を優先交渉権者に選定しました。

今後、建物は解体され、令和9年秋に新たな複合商業施設として生まれ変わる予定です。現在校内に残っている物品は今後使用しないことから、資産の有効活用を図るため、物品販売・譲渡会を開催するものです。

当日は、まだ使用可能な机や椅子、ピアノなど、さまざまな物品を提供します。市民の皆さまが、「もう一度使ってみたい」と感じるものに出会えるかもしれません。

旧城南中学校は、多くの市民の青春の思い出が詰まった場所です。このイベントが、市民の皆さんが懐かしい記憶を振り返る時間にもなればと考えております。

続きまして、教育の日推進事業についての情報です。

本市では、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの成長を支える取組を進めています。そして、この取り組みをさらに深め、教育への関心と理解を広めるため、11月5日を「龍ヶ崎教育の日」、そして11月を「龍ヶ崎教育月間」と定め、学校ごとに様々な取組を行っております。

これら教育の日推進事業の取り組みは、平成21年度から行っておりますが、本年度、教育委員会では三つの事業を実施する予定で、現在準備を進めております。

まず最初に、市の地域資源である食材を通して、子どもたちが地域を知ることが目的とした「龍ヶ崎クイズ食」です。

これは、市内の小学5・6年生を対象に、龍ヶ崎で収穫できる食材や、食育に関する内容を、クイズ形式で学ぶもので、クイズは学校給食センターの栄養教諭や教育委員会の職員が考案したものです。児童は、授業の中で、タブレット端末を使って参加し、楽しみながら地域の食や食育への理解を深めます。

次に、家庭教育の向上を目的とした食育講座「食育と簡単な朝食づくり体験」です。

開催日は11月26日・水曜日で、会場は市役所保健福祉棟3階・RINKのキッチンスタジオです。

講師には、Instagramで4万2千人のフォロワーを持ち、インフルエンサーとしても活躍されている、龍ヶ崎市食と農のアンバサダー・三好沙織さんをお迎えします。

対象は小学1年生から4年生の保護者の皆さまで、龍ヶ崎の食材を使った簡単でおいしい朝食づくりを体験しながら、家庭での食育について楽しく学んでいただける内容となっています。

最後に、論理的な思考力や問題解決能力を育むことを目的とした「プログラミング講座」です。

期日は11月30日・日曜日、こちらも市役所福祉棟3階・RINKのコミュニティホールで開催いたします。

茨城県職業能力開発協会から講師をお招きし、中学生を対象に、ロボットカーを思い通りに動かすプログラミングに挑戦します。

創造力を発揮しながら、ものづくりの楽しさや考える力を身につけていただきたいと思います。

日頃の学校や家庭での教育はもちろんのこと、こうした「龍ヶ崎教育月間」に合わせた取り組みを通して、地域全体で子どもたちを育てていくことが、未来の龍ヶ崎を創るために大変重要であると考えております。

最後に、「龍ヶ崎産業祭いがっぺ市&ご当地コロッケ横丁」の情報です。

11月23日・日曜日、市役所駐車場で「龍ヶ崎産業祭いがっぺ市&ご当地コロッケ横丁」を開催いたします。

当日は市内企業や商工会による事業PR、地域物産品の販売、体験コーナーなど、龍ヶ崎市の産業の魅力を一堂に集めた「龍ヶ崎産業祭いがっぺ市」、そして市内外のオリジナルコロッケが味わえる「コロッケ横丁」を同時開催します。家族で楽しめるイベントやステージパフォーマンスなど、遊びと食と体験を満喫できる人気のイベントです。

今回は特に、子供向け体験コーナーを充実させ、犬や猫とのふれあい体験、クライミング体験、フリースロー体験などを用意しました。消防車や救急車、自衛隊車両などの防災関係車両のほか、ホイルローダーやトラック美容室など珍しい車両も展示します。また、消防などの制服も試着できますので、消防士になりきって消防車の前で記念撮影も可能です。

イベントの大きな魅力の一つ「食」のコーナーでは、焼きそばやパスタ、牛筋煮込みから洋菓子・デザートまで、バラエティー豊かな32店が出店して、イベントに華やかさを添えます。

さらに人気の「コロッケ横丁」では、コロッケクラブ龍ヶ崎加盟店のほか、地元高校、市外の3店舗を加えた12店舗が、それぞれのオリジナルコロッケで自慢の味を競います。

このほか、ステージでは龍ヶ崎中学校吹奏楽部による演奏や、コロッケクラブ龍ヶ崎と地元高校生によるコロッケクイズ大会、ジャグリングやマジック、チアリーダーなど多彩なパフォーマンスでイベントを盛り上げます。

見て、食べて、体験して—— 龍ヶ崎の魅力をまるごと感じられる一日です。

ぜひ多くの皆さまにご来場いただき、秋の一日を思いきり楽しんでいただきたいと思います。